

健康支援と社会保障制度

健康支援と社会保障制度

目標 I. 人間の社会的側面について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 生活基盤	A 生活単位	a 人口動向(少子高齢化、総人口の減少)	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-2-1 「出生」 (p.102~105) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-1-1 「国民経済の現状」 (p.40~43) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-2-1 「出生に関する動向」 (p.58~60) 公衆衛生 : 第 7 章 A-1 「家族を取り巻く状況」 (p.150~151)、B-1-1 「成人・老人保健の背景」 (p.163~164) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-1 「人口の変化」 (p.30~35) 医学概論 : 付章 A-1 「人口動態統計」 (p.166)、第 9 章 D-3 「少子高齢化の問題への対策」 (p.151~152)
		b 家族(世帯)	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-2-6 「家族の変化」 (p.114) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 1 章 B-1 「家族の理解」 (p.32~38) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.34~35)、第 3 章 H 「家族支援」 (p.136~140) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 B-2-1 「家族の発達段階」 (p.126~129) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.37~39) 社会学 : 第 11 章 D 「結婚と家族」 (p.180~183)、E 「保健医療からみた結婚と家族」 (p.183~186) 家族論・家族関係論 : 第 1 章 A 「家族を巡る基本概念」 (p.2~3)
		c ライフサイクル	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-2 「私のライフコースと日本人の平均像」 (p.101~119) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 B-1 「現代女性のライフサイクル」 (p.119~125) 家族論・家族関係論 : 第 6 章 B 「家族発達段階論」 (p.177~184)
	B 家庭生活の基本機能	a 生産・労働	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-2-3 「出産」 (p.107~108)、E-2-4 「子育て」 (p.118~110) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.37~39) 家族論・家族関係論 : 第 4 章 C 「職場と家族」 (p.112~123)
		b 教育・養育	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-2-4 「子育て」 (p.118~110)
		c 保健・福祉	総合医療論 : 第 3 章 B 「私たちの生活と環境衛生、保健・福祉行政」 (p.70~72) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 B-2 「保健医療の動向」 (p.47~48)、B-3 「社会福祉の動向」 (p.48~50)
		d 生殖	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-2-3 「出産」 (p.107~108) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 H 「家族支援」 (p.136~140)
		e 慰安・交流	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 C-2 「看護の対象としての家族・集団・地域」 (p.77~79)、第 6 章 B-2-2 「地域における看護」 (p.204~211)
	C 生活の場と健康	a 都市と農・漁村(人口集中と過疎化)	社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-2 「地域社会の変化」 (p.35~36)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 住居	在宅看護論：第4章 B-2-4「住環境に関するアセスメント」(p.77~80)
	D 労働と健康	a 就業構造	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31~33) 社会保障・社会福祉：第2章 A-5「雇用状況の変化」(p.42~44) 社会学：第7章 A「『働き方』と『働かせ方』」(p.106~111)
		b 労働時間	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-2-4「自殺・職業性疾患・作業関連疾患」(p.54~56) 社会学：第7章 B「『働き方』『働かせ方』による健康への影響」(p.111~114)、D「仕事と生活の調和」(p.117~120) 家族論・家族関係論：第4章 C-2「長時間労働と遠距離通勤」(p.113~115)
		c 仕事と余暇	社会保障・社会福祉：第2章 A-5-4「仕事と余暇—ワーク・ライフ・バランス」(p.44)
		d 所得	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-1「国民経済の現状」(p.40~43) 在宅看護論：第4章 B-2-7「経済力のアセスメント」(p.87) 社会保障・社会福祉：第2章 A-4「経済状況の変化」(p.39~41) 社会学：第6章 B-1「経済的状態」(p.92~94)
2 ライフスタイル	A 家族の機能と役割	a 夫婦の役割機能の変化	社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39) 社会学：第11章 D-2「わが国における結婚と家族の変化」(p.181~183) 家族論・家族関係論：第2章 C「夫と妻の役割と常識」(p.41~50)
		b 家族内介護者の変化	老年看護学：第7章 C-1「介護を必要とする高齢者を含む家族への看護」(p.360~368) 総合医療論：第3章 D-5「高齢者介護をめぐる問題点」(p.82~85) 社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39)、第4章 A-1「介護保険制度創設の背景」(p.86) 社会学：第11章 B「ジェンダーとケア役割」(p.175~179) 家族論・家族関係論：第5章 B「家族の介護機能の揺らぎと支援」(p.144~149)
		c 育児と介護の社会化	総合医療論：第3章 D「少子高齢化社会と世代間のきずな」(p.77~85) 公衆衛生：第7章 A-1「家族を取り巻く状況」(p.150~151) 社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39)、第4章 A-1「介護保険制度創設の背景」(p.86) 家族論・家族関係論：第3章 A「ペアレンティングとは」(p.64~71)、第4章 D「高齢化社会と少子化」(p.123~135)
		d 家事機能の変化	社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39) 家族論・家族関係論：第4章 A「家族の生活文化」(p.98~105)
	B ライフスタイルの変化	a 雇用労働者化の進行	社会保障・社会福祉：第2章 A-4-2「産業構造の変化」(p.40) 社会学：第7章 A-2「わが国における変化」(p.108~110)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 女性労働の変化	<p>家族論・家族関係論：第4章C「職場と家族」(p.112～123)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章A-5「雇用状況の変化」(p.42～44)</p> <p>社会学：第7章A-2「わが国における変化」(p.108～110)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章C「職場と家族」(p.112～123)</p>
		c 少子化	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章E-2-1「出生」(p.102～105)</p> <p>公衆衛生：第7章A-2-2「育児への社会的支援から少子化への対策」(p.151～152)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章A-1-2「人口動態および人口構成の変化」(p.30～35)、第7章C-5-1「少子化の現状」(p.203)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章D-3「少子化」(p.133～135)</p>
		d 健康寿命の延長	<p>社会保障・社会福祉：第7章A-1-2「高齢者の健康」(p.162～163)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章D「高齢化社会と少子化」(p.123～135)</p>
		e 余暇時間	<p>老年看護学：第2章A-5「高齢者の暮らし」(p.30～35)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章A-5-4「仕事と余暇ワーク・ライフ・バランス」(p.44)</p>
		f 生涯学習	<p>老年看護学：第2章A-5「高齢者の暮らし」(p.30～35)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章A-2-5「高齢者の健康増進と社会参加促進対策」(p.166)</p>
		g 地域活動への参加	<p>老年看護学：第2章A-5「高齢者の暮らし」(p.30～35)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章A-2-5「高齢者の健康増進と社会参加促進対策」(p.166)</p>
		h 家族観の多様化	<p>社会保障・社会福祉：第2章A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37～39)</p> <p>社会学：第11章「性・ジェンダー・家族と保健医療」(p.172～187)</p> <p>家族論・家族関係論：第1章C「家族の変貌」(p.5～12)、D「わが国における家族の変貌」(p.12～19)、第4章A「家族の生活文化」(p.98～105)</p>
	C 生活習慣の確立	a 生活習慣病の概念	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第2章E-2-5「健康的な生活」(p.110～113)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-2-3「生活習慣病」(p.51～53)</p> <p>総合医療論：第3章C-3「生活習慣と病気」(p.75)</p> <p>公衆衛生：第7章B-1-1「成人・老人保健の背景」(p.163～167)、第8章B-2-2「作業関連疾患」(p.238～239)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章F-1-2「疾病構造の変化とケアからケアの医療へ」(p.242)</p> <p>医学概論：第8章E「生活習慣病と一次予防」(p.138～139)</p>
		b 発達課題別生活習慣	<p>公衆衛生：第1章A-2-2「健康に寄与する医療の役割と環境整備」(p.6)</p>
		c セルフケアの確立	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第7章B「慢性病患者のたえまない取り組み—セルフケア」(p.211～213)、第7章C「慢性病との共存の過程を支える看護」(p.213～219)、第11章A-4「主体的な治療・療養行動の促進」(p.279～284)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章G-2-2「傷病に伴う患者・家族の生活問題」(p.250～252)</p>
3 人間の集団としての働き	A 集団の形成・発達	a 集団の凝集性	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章C-1「集団(グループ)の持つ意味」(p.101～103)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 集団の意思決定	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-1 「集団のなかの自己」 (p.119~120)、B-2 「グループプロセス」 (p.120) 社会保障・社会福祉 : 第 8 章 C 「集団援助技術(グループワーク)」 (p.228~234) 社会学 : 第 1 章 C 「集団・組織・ネットワーク」 (p.15~17) 人間関係論 : 第 4 章 A-2 「集団のなかでの行動パターン」 (p.77~82) 社会保障・社会福祉 : 第 8 章 C 「集団援助技術(グループワーク)」 (p.228~234)
		c グループダイナミクス	人間関係論 : 第 4 章 A-2-5 「集団目標」 (p.80~81) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 C-1 「集団(グループ)の持つ意味」 (p.101~103) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-3 「全体としてのグループ」 (p.120~124) 社会保障・社会福祉 : 第 8 章 C 「集団援助技術(グループワーク)」 (p.228~234) 人間関係論 : 第 4 章 A-2-4 「レヴィンのグループダイナミクス研究」 (p.79~80)
B	地域における人間関係	a 親族、近隣、交際のネットワーク	社会保障・社会福祉 : 第 8 章 H-3 「地域ケアシステムにおける他機関との連携」 (p.254~255) 社会学 : 第 12 章 「地域社会と保健医療」 (p.190~202) 家族論・家族関係論 : 第 4 章 B 「地域と家族」 (p.105~112)
		b 地域のソーシャルサポートネットワーク	公衆衛生 : 第 3 章 C 「地域コミュニティを対象としたヘルスプロモーション活動」 (p.74~80) 社会保障・社会福祉 : 第 8 章 H-3 「地域ケアシステムにおける他機関との連携」 (p.254~255) 社会学 : 第 12 章 「地域社会と保健医療」 (p.190~202) 人間関係論 : 第 10 章 「ソーシャルサポートをめぐる人間関係」 (p.212~231)
		c 学校における人間関係	公衆衛生 : 第 8 章 A-1-1 「学校保健が目ざすものと現代の子どもの健康課題」 (p.224~225)
C	職場における人間関係	a 組織の中での役割	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 D-3 「組織」 (p.241~247) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 5 章 C 「組織の調整」 (p.197~210) 社会学 : 第 7 章 C 「健康に影響を与える職場の要因」 (p.114~117)
		b 上司との関係	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 D-4 「リーダーシップとフォロワーシップ」 (p.248~249) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 5 章 C 「組織の調整」 (p.197~210) 社会学 : 第 7 章 C 「健康に影響を与える職場の要因」 (p.114~117)
		c 同僚との関係	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 D-3 「組織」 (p.241~247) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 5 章 C 「組織の調整」 (p.197~210) 社会学 : 第 7 章 C 「健康に影響を与える職場の要因」 (p.114~117)

目標Ⅱ. 社会保障の理念と制度及び法律に基づく社会福祉の方法と課題について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 社会保障の理念	A 日本の保健医療福祉活動の基本方向	a 概念、目的、機能、体系、内容	<p>総合医療論：第1章B「健康とは」(p.19~23) 公衆衛生：第4章A-1「社会保障制度とは」(p.94)、A-2「社会保障制度の体系と機能」(p.94~96) 社会保障・社会福祉：第1章A「社会保障制度」(p.2~12) 社会学：第13章「保健医療制度」(p.206~217) 公衆衛生：第1章B-4「PHCと健康水準」(p.13) 社会保障・社会福祉：第1章A-1「社会保障の概念」(p.2~4)、A-2「社会保障の目的」(p.4) 看護関係法令：第1章D「厚生行政のしくみ」(p.14~19)</p>
		b 人権、日本国憲法第25条	<p>社会学：第13章「保健医療制度」(p.206~217) 公衆衛生：第1章B-4「PHCと健康水準」(p.13) 社会保障・社会福祉：第1章A-1「社会保障の概念」(p.2~4)、A-2「社会保障の目的」(p.4) 看護関係法令：第1章D「厚生行政のしくみ」(p.14~19)</p>
		c 倫理	<p>総合医療論：第5章D「生命倫理学と臨床倫理学の展開」(p.122~127) 公衆衛生：第1章C「情報公開と生命倫理」(p.25~36) 社会保障・社会福祉：第1章A-1「社会保障の概念」(p.2~4)、A-2「社会保障の目的」(p.4)</p>
		d ノーマライゼーション	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-4「福祉にかかわる対策—地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77~81) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章B-5「精神保健福祉の現在と今後」(p.287~288) 総合医療論：第3章E「障害者のノーマライゼーションと社会的包摂」(p.85~89) 社会保障・社会福祉：第7章B-2-1「ノーマライゼーション」(p.174) 社会学：第12章E「ノーマライゼーションと地域」(p.201~202) 人間関係論：第11章「ノーマライゼーションをはぐくむ人間関係」(p.234~253)</p>
		e 情報公開、地方分権、参加	<p>総合医療論：第5章G「インフォームド・コンセントと医療情報の開示」(p.132~138) 公衆衛生：第1章C「情報公開と生命倫理」(p.25~36) 社会保障・社会福祉：第2章A-2-3「地方分権の動向」(p.36)</p>
		f 社会保障給付費	<p>公衆衛生：第4章A-3「日本の少子・高齢化の現状と社会保障給付費の増加」(p.97) 社会保障・社会福祉：第1章A-6「社会保障給付費」(p.9~11)</p>
		g 社会保障制度改革	<p>公衆衛生：第4章B「社会保障制度および医療制度改革」(p.101~104) 社会保障・社会福祉：第2章B「社会保障・社会福祉の動向」(p.44~50)</p>
5 社会保険制度	A 社会保険の変遷	a 歴史、意義	<p>公衆衛生：巻末資料「戦時体制下」(p.274) 社会保障・社会福祉：第1章A-4-1「社会保険」(p.5~6)</p>
		b 国民皆保険・皆年金	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章C-3-1「医療保険制度」(p.222~225) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章D「医療制度」(p.173~182) 公衆衛生：巻末資料「戦後復興期と高度経済成長期」(p.275) 社会保障・社会福祉：第3章A「医療保障制度の沿革」(p.52~55)、B-2「わが国の医療保障制度の特徴」(p.56~59)、第5章B-4-1「国民皆年金までの道のり」(p.128)</p>
	B 医療保険制度	a 健康保険、国民健康保険と高齢者の医療制度	<p>在宅看護論：第3章A「在宅看護のしくみ」(p.40~58)、付章C「関係法令」(p.384~388) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章D-1「医療保険制度」(p.173)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 保険給付と利用者負担	<p>公衆衛生：第4章 A-4「日本の医療・介護における社会保障制度の概要」(p.98～99)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 B-2「わが国の医療保障制度の特徴」(p.56～59)、C「健康保険と国民健康保険」(p.59～69)、D「高齢者医療制度」(p.69～75)</p> <p>看護関係法令：第6章 I-A「健康保険法」、I-B「国民健康保険法」(p.203～208)、I-E「高齢者の医療の確保に関する法律」(p.209～211)</p> <p>公衆衛生：第4章 A-2-3「社会保障制度の必要性」(p.95～96)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 C-2「給付と患者負担」(p.64～68)</p>
		c 医療保険の財政	<p>看護関係法令：第6章 I「費用保障」(p.203～212)</p> <p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3「看護サービスと経済のしくみ」(p.222～228)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 C-3「費用負担」(p.68～69)、D-4-3「費用負担」(p.74～75)</p>
		d 保険診療の仕組み	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3「看護サービスと経済のしくみ」(p.222～228)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 E「保険診療のしくみ」(p.76～79)</p>
		e 公費負担医療	<p>在宅看護論：第3章 A「在宅看護のしくみ」(p.40～58)、付章 C「関係法令」(p.384～388)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～80)</p>
		f 国民医療費	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 E-4「わが国の患者と医療の特徴」(p.123～126)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 G「国民医療費」(p.80～84)</p>
		g 診療報酬制度	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3「看護サービスと経済のしくみ」(p.222～228)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 E「保険診療のしくみ」(p.75～79)</p>
	C 介護保険制度	a 制度の基本理念	<p>老年看護学：第2章 B-2-2「介護保険制度の整備」(p.39～50)</p> <p>在宅看護論：第3章 A-3「介護保険制度」(p.44～50)、付章 C-4「介護保険法」(p.386)</p> <p>公衆衛生：第4章 A-4-2「介護保険制度」(p.99～101)、第7章 B-1-3「介護保険法」(p.168～169)</p> <p>社会保障・社会福祉：第4章 B-1「制度の基本理念」(p.91)</p>
		b 保険者・被保険者	<p>看護関係法令：第6章 I-F「介護保険法」(p.211～219)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-4「福祉にかかわる対策—地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77～81)</p> <p>在宅看護論：第3章 A-2-1「介護保険の被保険者」(p.45)</p> <p>公衆衛生：第4章 A-4-2「介護保険制度」(p.99～101)、第7章 B-1-3「介護保険法」(p.168～169)</p> <p>社会保障・社会福祉：第4章 B-2「保険者」(p.92)、B-3「被保険者」(p.93)</p> <p>看護関係法令：第6章 I-F-1「保険者等」(p.211)、F-2「被保険者」(p.211～212)</p>
		c 要介護・要支援の認定	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-4「福祉にかかわる対策—地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77～81)</p> <p>在宅看護論：第3章 A-2-2「介護サービスの利用」(p.45～47)</p> <p>公衆衛生：第4章 A-4-2「介護保険制度」(p.99～101)、第7章 B-1-3「介護保険法」(p.168～169)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 保険給付と利用者負担	<p>社会保障・社会福祉：第4章B-4「要介護・要支援の認定」(p.94)</p> <p>看護関係法令：第6章I-F-4「要介護認定および要支援認定」(p.215~216)</p> <p>在宅看護論：第3章A「在宅看護のしくみ」(p.40~58)、第4章B-2-5「社会資源に対するアセスメント」(p.80~82)、付章C-2「訪問看護に係る法令」(p.385~388)</p> <p>公衆衛生：第4章A-4-2「介護保険制度」(p.99~101)、第7章B-1-3「介護保険法」(p.168~169)</p> <p>社会保障・社会福祉：第4章B-5「保険給付」(p.95~103)、B-5-6「利用者負担」(p.98~99)</p> <p>看護関係法令：第6章I-F「介護保険法」(p.211~219)</p>
		e ケアマネジメント	<p>在宅看護論：第3章A-2「ケアマネジメントの概念と機能」(p.42~44)、第4章第4章B-2-5「社会資源に対するアセスメント」(p.80~82)</p> <p>社会保障・社会福祉：第4章B-5-5「居宅介護支援と介護予防支援」(p.97~98)、第8章D-2-2「ケアマネジメント」(p.235~236)</p>
		f 介護保険の財政	<p>在宅看護論：第3章A「在宅看護のしくみ」(p.40~58)</p> <p>社会保障・社会福祉：第4章B-6「介護保険の財政」(p.104~108)</p>
		g 介護保険事業計画	<p>在宅看護論：第3章A「在宅看護のしくみ」(p.40~58)</p> <p>社会保障・社会福祉：第4章B-7「介護保険事業計画など」(p.108~109)</p>
	D 年金制度	a 制度の体系	<p>社会保障・社会福祉：第5章B「年金保険制度」(p.119~131)</p> <p>看護関係法令：第6章II「年金と手当」(p.219~222)</p>
		b 給付と費用負担	<p>社会保障・社会福祉：第5章B-3「わが国の年金保険制度のしくみ」(p.121~128)</p>
	E その他の社会保険制度	a 雇用保険法	<p>社会保障・社会福祉：第5章D-1「雇用保険制度」(p.133~137)</p> <p>看護関係法令：第8章I-6「雇用保険法」(p.253)</p>
		b 労働者災害補償保険法	<p>社会保障・社会福祉：第5章D-2「労働者災害補償保険制度」(p.137~140)</p> <p>看護関係法令：第8章I-4「労働者災害補償保険法」(p.252~253)</p>
6 社会福祉に関する法律の理念と施策	A 社会福祉の理念と変遷	a 措置制度から選択、利用制度へ	<p>社会保障・社会福祉：第1章B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15~18)、第2章B-3-1「社会福祉基礎構造改革」(p.48~49)</p>
		b 利用者保護の制度	<p>社会保障・社会福祉：第2章B-3-1「社会福祉基礎構造改革」(p.48~49)</p>
	B 生活保護法と施策	a 生活保護の基本原則と実施の原則	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章E-2-2「生活保護法」(p.316)</p> <p>社会保障・社会福祉：第6章B-1「生活保護制度の目的・原理・原則」(p.144~146)</p> <p>看護関係法令：第7章I-B「生活保護法」(p.226~227)</p>
		b 実施機関	<p>社会保障・社会福祉：第6章B-5-4「生活保護の実施過程」(p.154)</p> <p>看護関係法令：第7章I-B「生活保護法」(p.226~227)</p>
		c 扶助の種類と内容	<p>社会保障・社会福祉：第6章B-5「生活保護の種類と方法」(p.146~151)</p> <p>看護関係法令：第7章I-B「生活保護法」(p.226~227)</p>
	C 障害者(児)にかかわる法と施策	a 障害者基本法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-4「福祉にかかわる対策—地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77~81)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 障害者総合支援法(旧障害者自立支援法)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-1-2 「法律によって障害者の位置づけもかわる」 (p.300~302)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 C-1-2 「日本における精神保健の歴史的経緯」 (p.178~179)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-4 「障害者基本法の改正」 (p.179)、B-5-1 「障害者基本法の抜本的改正」 (p.192)</p> <p>看護関係法令 : 第 7 章 II-C-1 「障害者基本法」 (p.235~236)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-2 「障害者基本法」 (p.6~7)、付章 6 「障害者基本法」 (p.315~317)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-4 「福祉にかかわる対策—地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.77~81)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : E-2-2 「障害者総合支援法における通院医療費」 (p.313)、E-3 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」 (p.318~320)、〔資料 3〕 「障害者自立支援法(抄)」 (p.343~346)</p> <p>在宅看護論 : 第 4 章 B-2-5 「社会資源に対するアセスメント」 (p.80~82)、付章 C-2-5 「公費負担医療」 (p.387)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 C-1-2 「日本における精神保健の歴史的経緯」 (p.178~179)、C-3-2 「精神障害者への支援」 (p.186)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-7 「障害者自立支援法の成立」 (p.180~183)、B-5-4 「障害者総合支援法への改正」 (p.193)</p> <p>看護関係法令 : 第 7 章 II-C-2 「障害者の日常及び社会生活を総合的に支援する法律」 (p.236~239)</p> <p>精神保健福祉 : 第 4 章 B 「障害者総合支援法におけるケアマネジメント」 (p.81~95)</p>
		c 身体障害者福祉法	<p>社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「福祉 6 法—身体障害者福祉法」 (p.21)、第 7 章 B-3-1 「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」 (p.177~178)</p> <p>看護関係法令 : 第 7 章 II-C-5 「身体障害者福祉法」 (p.240~241)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-3 「身体障害者福祉法」 (p.7)、付章 7 「身体障害者福祉法」 (p.317)</p>
		d 知的障害者福祉法	<p>社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「福祉 6 法—知的障害者福祉法」 (p.21~22)、第 7 章 B-3-1 「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」 (p.177~178)</p> <p>看護関係法令 : 第 7 章 II-C-7 「知的障害者福祉法」 (p.242~243)</p>
		e 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E 「精神障害と法制度」 (p.299~325)、〔資料 2〕 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(抄)」 (p.333~342)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 C-3-2 「精神障害者への支援」 (p.183~189)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-1 「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」 (p.177~178)</p> <p>看護関係法令 : 第 3 章 II-A 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.130~137)</p> <p>医学概論 : 第 8 章 B-7 「精神保健」 (p.131~132)</p> <p>精神保健福祉 : 第 2 章 「精神保健福祉法の現状」 (p.32~51)、第 4 章 B 「障害者総合支援法におけるケアマネジメント」 (p.81~92)</p>
		f 発達障害者支援法	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-2-3 「発達障害者支援法」 (p.321)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 C-4 「発達障害者への支援」 (p.189)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律〈障害者虐待防止法〉	<p>社会保障・社会福祉：第7章 B-3-5「発達障害者支援法の成立」(p.179)</p> <p>看護関係法令：第7章 II-C-8「発達障害者支援法」(p.243)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-1「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)」(p.310)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 B-5-2「障害者虐待防止法の成立」(p.192)</p> <p>看護関係法令：第7章 II-C-3「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」(p.239～240)</p>
	D 児童にかかわる法と施策	<p>a 児童福祉法</p> <p>b 児童虐待の防止等に関する法律</p> <p>c 母子及び寡婦福祉法 *「母子及び寡婦福祉法」の名称は「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に変更(平成26.10.1～)</p>	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A「児童福祉」(p.168～173)</p> <p>公衆衛生：第7章 A-2-1「児童福祉法および母子保健法の制定」(p.151)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法—児童福祉法」(p.20～21)、第7章 C-3「児童福祉法」(p.198～201)</p> <p>看護関係法令：第7章 II-A-1「児童福祉法」(p.230～232)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A「児童福祉」(p.168～173)</p> <p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第20章「子どもの虐待と看護」(p.514～525)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 C-7「児童虐待対策」(p.207～210)</p> <p>看護関係法令：第7章 II-A-4「児童虐待の防止等に関する法律」(p.233)</p> <p>精神保健福祉：第10章 A「児童虐待の現状」(p.192～197)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法—母子及び寡婦福祉法」(p.22～23)</p> <p>看護関係法令：第7章 II-D「母子及び寡婦福祉法」(p.243～244)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章 D-3「少子化」(p.133～135)</p>
	E 高齢者にかかわる法と施策	<p>a 老人福祉法</p> <p>b 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律〈高齢者虐待防止法〉</p>	<p>老年看護学：第2章 B-2-1「保健医療福祉制度の変遷」(p.36～39)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法—老人福祉法」(p.22)</p> <p>看護関係法令：第7章 II-B-1「老人福祉法」(p.233～235)</p> <p>医学概論：第8章 B-4「高齢者保健」(p.127～129)</p> <p>老年看護学：第2章 C-2-6「高齢者虐待防止法」(p.58～60)</p> <p>在宅看護論：第4章 E-6「虐待」(p.125～126)</p> <p>社会保障・社会福祉：第4章 B-8「利用者の権利擁護」(p.109～111)</p> <p>看護関係法令：第7章 II-B-②「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(p.235)</p>
	F その他の施策	<p>a 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV法〉</p> <p>b 少子化対策</p>	<p>公衆衛生：第5章 C-2-2「ジェンダーというレンズを通してみえてきたこと」(p.129)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 C-8「DV対策」(p.210)</p> <p>看護関係法令：第8章 II-7「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(p.260～261)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A-2-1「児童の健全育成と子育て支援」(p.170～172)</p> <p>公衆衛生：第7章 A-2-2「育児への社会的支援から少子化への対策」(p.151～152)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 社会福祉行政	A 保健福祉計画	a 子ども・子育て応援プラン	<p>社会保障・社会福祉：第7章 C-5「少子化対策」(p.203～205)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A-2-1「児童の健全育成と子育て支援」(p.170～172)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 C-5-2「少子化対策の動向」(p.203～205)</p>
		b 障害者基本計画と障害者プラン	<p>社会保障・社会福祉：第7章 B-3-3「新障害者基本計画と新障害者プラン」(p.178～179)</p>
	B 社会福祉の民間活動	a 民生委員、児童委員	<p>社会保障・社会福祉：第1章 B-6「社会保障・社会福祉の従事者と担い手」(p.26～27)</p> <p>看護関係法令：第7章 I-C-2「民生委員法」(p.228)</p>
		b 社会福祉協議会	<p>社会保障・社会福祉：第1章 B-5-2「社会福祉協議会」(p.24)</p>
		c ボランティア活動	<p>総合医療論：第7章 G-2「保健・医療・福祉におけるボランティア活動の意義」(p.188～189)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章 H-3「地域ケアシステムにおける他機関との連携」(p.254～255)</p>
		d 特定非営利活動促進法 (NPO法)	<p>社会保障・社会福祉：第8章 H-3「地域ケアシステムにおける他機関との連携」(p.254～255)</p>
	C 福祉の行政機関と施設	a 福祉事務所	<p>社会保障・社会福祉：第1章 B-5-1「社会保障・社会福祉行政」(p.24～26)</p>
		b 児童相談所	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A-2「現在の児童福祉」(p.170～173)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法—児童福祉法」(p.20～21)、B-5-1「社会福祉行政」(p.24)、第7章 C-3-4「児童福祉に関する専門機関」(p.200～201)</p>
		c 社会福祉施設	<p>社会保障・社会福祉：第1章 B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15～18)</p>
		d 在宅サービス機関	<p>在宅看護論：第3章 A「在宅看護のしくみ」(p.40～58)、第4章 A-4「生活を支える制度・支援体制の理解」(p.68～69)、C-3「介護保険の社会資源との連携」(p.96)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15～18)、第4章 B-5-5「居宅介護支援と介護予防支援」(p.97～98)、B-5-7「指定居宅サービス事業者と介護保健施設」(p.99～102)</p> <p>看護関係法令：第6章 I-F-6「事業者及び施設の指定等」(p.217～218)</p>
	D 老人保健福祉行政の展開	a 老人福祉計画	<p>老年看護学：第2章 B-2「保健医療福祉システムの構築」(p.39～50)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-2「福祉6法—老人福祉法」(p.22～23)、第4章 B-7「介護保険事業計画など」(p.108～109)、第7章 A-2「高齢者福祉の施策」(p.161～164)</p> <p>看護関係法令：第7章 II-B-1「老人福祉法」(p.233～235)</p>
		b 高齢者の生きがい対策	<p>社会保障・社会福祉：第7章 A-2-5「高齢者の健康増進と社会参加促進対策」(p.166)</p>
c 介護予防		<p>老年看護学：第7章 A-1「介護予防と看護」(p.336～340)</p> <p>在宅看護論：第3章 A-2-3「介護予防」(p.47)</p> <p>公衆衛生：第7章 B-2-2「生活機能・ADLを低下させる要因と介護予防」(p.172～177)</p> <p>社会保障・社会福祉：第4章 B-5-5「居宅介護支援と介護予防支援」(p.97～98)、B-5-9「地域支援事業」(p.103)</p> <p>看護関係法令：第6章 I-F「介護保険法」(p.211～219)</p>	

目標Ⅲ. 公衆衛生及び保健活動の進め方について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 健康と公衆衛生	A 公衆衛生の概念	a 公衆衛生の領域、活動の特徴	公衆衛生：第1章A「公衆衛生とは」(p.4~9)
		b プライマリヘルスケア	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章A-5「国際保健の基本理念」(p.287~288) 公衆衛生：第1章B「プライマリヘルスケア」(p.10~24)
		c ヘルスプロモーション	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章D-4-2「健康の位置づけ」(p.98~100)、第7章A-5「国際保健の基本理念」(p.287~288) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章「ヘルスプロモーションと看護」(p.146~160) 公衆衛生：第3章C「地域コミュニティを対象としたヘルスプロモーション活動」(p.74~80)
		d 健康の概念	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章B「健康とはなにか」(p.83~87)、D-4「健康の概念と位置づけの変化」(p.97~100) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-3「大人の健康」(p.57~62) 総合医療論：第1章B「健康とは」(p.19~23) 公衆衛生：第3章B「新しい健康概念の提案と健康づくりを支援する方法」(p.67~74) 社会学：第5章A「健康・病気の見方・とらえ方のうつりかわり」(p.74~76)、B「健康・病気の新しい見方ととらえ方」(p.76~84) 医学概論：第3章1「健康とは」(p.50)
		e 世界保健機関 (WHO) 加盟国の役割	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章B-1「WHOの健康の定義」(p.83~85) 公衆衛生：第1章A-2-1「公衆衛生の歴史的な背景」(p.4~6)、B「プライマリヘルスケア」(p.10~24)、第5章A-3「国際保健の担い手」(p.107~109)
	B 健康と環境	a 生態学的環境	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)、第5章A-1「環境」(p.163) 公衆衛生：第2章A「環境とは」(p.38~40)
		b 物理化学的環境	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)、第5章A-1「環境」(p.163) 公衆衛生：第2章A「環境とは」(p.38~40) 医学概論：第4章A-2「病気の外因」(p.63~67)
		c 社会的環境	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章B-1「生活を営むこと」(p.28~30) 公衆衛生：第2章A「環境とは」(p.38~40) 医学概論：第4章A-2「病気の外因」(p.63~67)
	C 疫学的方法による健康の理解	a 健康被害と母集団	公衆衛生：第3章A「疫学と健康指標」(p.58~67)
		b 疫学的因果関係の推定	公衆衛生：第3章A「疫学と健康指標」(p.58~67)
c 臨床疫学とエビデンス		総合医療論：第6章A「臨床疫学-医療における合理的判断」(p.142~148)	
9 健康指標と予防	A 健康に関連した指標	a 国勢調査	公衆衛生：第3章A「疫学と健康指標」(p.58~67)
		b 人口静態	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-1-1「国民経済の現状」(p.40~43) 公衆衛生：第3章A-2-2「健康指標とは」(p.60)
		c 出生	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章E-2-1「出生」(p.102~105) 小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第1章B-2「出生と家族」(p.10~12) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章A-2-1「出生に関する動向」(p.58~60) 公衆衛生：第3章A-2-2「健康指標とは」(p.60)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 死亡・死因	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-2-8 「死亡」 (p.117~119) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.49~51) 公衆衛生 : 第 3 章 A-2-2 「健康指標とは」 (p.60)
		e 死産、周産期死亡、乳児死亡	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-2-3 「出産」 (p.107~108) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 1 章 B-3 「子どもの死亡」 (p.12~15) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-2-2 「死亡に関する動向」 (p.60~67) 公衆衛生 : 第 3 章 A 「疫学と健康指標」 (p.58~67)
		f 平均余命、平均寿命	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-2-8 「死亡」 (p.117~119) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.49~51) 公衆衛生 : 第 3 章 A-2-2 「健康指標とは」 (p.63)
		g 健康寿命	公衆衛生 : 第 3 章 A-2-2 「健康指標とは」 (p.63)
		h 有病率・罹患率	公衆衛生 : 第 3 章 A-2-2 「健康指標とは」 (p.63)
	B 感染症とその予防	a 感染症の成立要因	病理学 : 第 6 章 A 「病原体と感染症」 (p.98~101) 微生物学 : 第 6 章 「感染と感染症」 (p.69~96) 公衆衛生 : 第 7 章 E-1-2 「感染症成立の 3 大要因」 (p.198~201)
		b 感染症の流行現象	病理学 : 第 6 章 A 「病原体と感染症」 (p.98~101) 微生物学 : 第 12 章 B-1 「新興・再興感染症」 (p.200~201) 公衆衛生 : 第 7 章 E-2 「今日の感染症とその予防対策」 (p.202~209)
		c 感染症予防の基本	成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A 「感染予防」 (p.302~330) 微生物学 : 第 12 章 C-3 「感染予防の理念と実際」 (p.206~208) 公衆衛生 : 第 7 章 E-1 「感染症の基本知識」 (p.201~202) 医学概論 : 第 8 章 B-2 「防疫—感染症の予防」 (p.126)
		d 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (感染症法)	成人看護学 [11] (感染症) : 第 2 章 A 「感染症とはなにか」 (p.190~193) 微生物学 : 第 12 章 C-1 「感染症法および関連する法律」 (p.203~205) 公衆衛生 : 第 7 章 E-2-1 「感染症対策の法律 : 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」 (p.202~206) 看護関係法令 : 第 3 章 Ⅲ-A 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」 (p.149~159) 医学概論 : 第 8 章 B-2 「防疫—感染症の予防」 (p.126)
		e 院内感染とその予防	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 「感染防止の技術」 (p.411~447) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A 「感染予防」 (p.302~322) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 C-2-3 「院内感染対策」 (p.43~48) 微生物学 : 第 12 章 B-2 「院内感染とその特徴」 (p.202~203) 臨外看総 : 第 6 章 E 「院内(病院)感染予防」 (p.223~242)
		f 予防接種	成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A-10 「予防接種とワクチン」 (p.322~330) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 D 「予防接種」 (p.180~187) 微生物学 : 第 12 章 C-4 「ワクチンと予防接種」 (p.208~211)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 結核予防	<p>公衆衛生：第7章 E-2「今日の感染症とその予防対策」(p.202~209)</p> <p>看護関係法令：第3章 III-C「予防接種法」(p.160~163)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 A-4-6「予防」(p.163~164)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症)：第6章 A-10「予防接種とワクチン」(p.322~327)</p> <p>公衆衛生：第7章 E-3「結核」(p.209~215)</p> <p>看護関係法令：第3章 III-A-10「結核」(p.158)</p>
		h ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症、後天性免疫不全症候群〈AIDS〉	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-7-3「性感染症」(p.179~180)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章 R-1「HIV感染症」(p.290~293)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第6章-C「HIVに感染した女性に対する看護」(p.262~271)</p> <p>微生物学：第16章 B-11-2「ヒト免疫不全ウイルス」(p.347~350)</p> <p>公衆衛生：第7章 E-4「性感染症と HIV 感染症」(p.214~220)</p>
		i 新型インフルエンザ	<p>臨外看総：第1章 D-2-2中「HIV」(p.30)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策—健やかな生活をはぐくむために」内、「感染症対策」(p.69~71)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 A-2「インフルエンザ」(p.140~143)</p> <p>微生物学：第16章 B-1-1「A型・B型・C型インフルエンザウイルス」(p.321~325)</p> <p>公衆衛生：第7章 E-2-2「近年問題となっている感染症」(p.207~208)</p> <p>看護関係法令：第3章 III-B「新型インフルエンザ等対策特別措置法」(p.159~160)</p>
10 生活環境の保全	A 地球環境	a 地球温暖化	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)</p> <p>公衆衛生：第2章 B-1-1「地球温暖化」(p.40~42)</p>
		b オゾン層の破壊	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)</p> <p>公衆衛生：第2章 B-1-2「オゾン層の破壊」(p.42)</p>
		c アスベスト、放射性物質	<p>公衆衛生：第8章 D-3「原子力災害」(p.264~269)</p>
		d 水質汚染	<p>公衆衛生：第2章 B-2-1「水の安全性」(p.43~44)</p>
		e 大気汚染	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)、第5章 C-6-3「大気・空気・紫外線の問題」(p.177)</p> <p>公衆衛生：第2章 B-2-2「大気汚染」(p.44~47)</p> <p>公衆衛生：第2章 B-2-3「土壌汚染」(p.47)</p>
		f 土壌汚染	
	B 食品管理および家庭用品	a 食品安全確保対策	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)、第5章 C-6-1「食品の安全性確保」(p.177)</p> <p>公衆衛生：第2章 B-3-1「食品安全確保対策」(p.48~50)</p> <p>看護関係法令：第3章 IV-1「食品安全基本法」(p.164)</p> <p>公衆衛生：第2章 B-3-2「食品衛生管理制度」(p.50~51)</p>
		b 食品衛生管理制度	<p>看護関係法令：第3章 IV-2「食品衛生法」(p.164~166)</p> <p>公衆衛生：第2章 B-3-3「家庭用品の安全対策」(p.51)</p>
		c 家庭用品の安全対策	
	C ごみ・廃棄物	a 一般廃棄物と産業廃棄物	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-6-4「廃棄物処理」(p.177~178)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第3章 F-5「廃棄物の取り扱いと管理」(p.127~128)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 市町村と企業の責任 c 生活廃水処理	公衆衛生：第2章 B-4-1「一般廃棄物と産業廃棄物」(p.51～52) 看護関係法令：第9章 B-10「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(p.275～277) 公衆衛生：第2章 B-4-2「廃棄物の処理」(p.52～53) 公衆衛生：第2章 B-4-3「生活排水処理」(p.53)
	D 住環境	a バリアフリー b 室内空気汚染と健康問題	公衆衛生：第2章 B-5-1「バリアフリー」(p.54) 看護関係法令：第8章Ⅱ-7「高齢者、障害者等の異動等の円滑化の促進に関する法律」(p.259～260) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-6-2「居住環境」(p.177) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 C-2「アレルギーの種類」(p.20～21) 公衆衛生：第2章 B-5「住環境と健康」(p.54～55)
11 保健活動	A 地域保健	a 地域保健法の理念と指針 b 健康日本21 c 健康増進法 d 市町村保健センター e 保健所	公衆衛生：第6章 B-2-1「地域保健法」(p.141～142) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-3「地域保健対策の展開」(p.48) 看護関係法令：第3章 I-A「地域保健法」(p.124～127) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 D-4-2「健康の位置づけ」(p.98～100) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策—健やかな生活をはぐくむために」(p.63～72) 公衆衛生：第6章 B-2-2「健康日本21」(p.142) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.47～48) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策—健やかな生活をはぐくむために」(p.63～72) 公衆衛生：第6章 B-2-3「健康増進法」(p.143～144) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.47～48) 看護関係法令：第3章 I-B「健康増進法」(p.128～129) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 B-2-2「地域における看護」(p.204～213) 公衆衛生：第6章 C-2「市町村保健センター」(p.146) 看護関係法令：第3章 I-A-4「市町村保健センター」(p.127) 医学概論：付章 B-2「公衆衛生の組織」(p.172～174) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 B-2-2「地域における看護」(p.204～213) 公衆衛生：第6章 C-1「保健所」(p.145～146) 看護関係法令：第3章 I-A-3「保健所」(p.125～127) 医学概論：付章 B-2「公衆衛生の組織」(p.172～174)
	B 母子保健	a 母子保健法 b 母子健康手帳	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 B「母子保健」(p.173～178) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-3-2「母性看護に関するおもな法律」(p.69～71) 公衆衛生：第7章 A-2-1「児童福祉法および母子保健法の制定」(p.151)、A-4「子育て家族を支援する母子保健サービスと看護活動」(p.154～158) 社会保障・社会福祉：第7章 C-4「母子保健法」(p.201～202) 看護関係法令：第3章Ⅱ-B「母子保健法」(p.137～139) 医学概論：第8章 B-3「母子保健」(p.127) 小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 B-2-1「母子保健手帳」(p.175～176)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 保健指導・訪問指導	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-4-1 「妊産婦と乳幼児に対する支援」 (p.73~75)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 2 章 D-1-1 「妊娠の届出と母子健康手帳の交付」 (p.110)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 A-4-2 「妊娠期の支援活動」 (p.154)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 C-4-2 「おもな母子保健施策」 (p.202)</p> <p>看護関係法令 : 第 3 章 II-B 「母子保健法」 (p.137~139)</p>
		d 健康診査・健康教育	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-4-1 「妊産婦と乳幼児に対する支援」 (p.73~75)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 2 章 D-1 「妊婦が受ける母子保健サービス」 (p.109~113)、D-2 「妊婦の保健相談の実際」 (p.113~159)、第 5 章 D 「施設退院後の看護」 (p.331~334)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 A-4 「子育て家族を支援する母子保健サービスと看護活動」 (p.154~158)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 C-4-2 「おもな母子保健施策」 (p.202)</p> <p>看護関係法令 : 第 3 章 II-B 「母子保健法」 (p.137~139)</p>
		e 児童虐待防止	<p>医学概論 : 第 8 章 B-3 「母子保健」 (p.127)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 A-2-2 「虐待防止」 (p.172~173)</p> <p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 20 章 「子どもの虐待と看護」 (p.514~525)</p> <p>総合医療論 : 第 3 章 F-2-1 「児童虐待」 (p.91~92)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 A-4 「子育て家族を支援する母子保健サービスと看護活動」 (p.160)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 C-7 「児童虐待対策」 (p.207~210)</p> <p>看護関係法令 : 第 7 章 II-A-4 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.233)</p> <p>精神保健福祉 : 第 10 章 「児童虐待と精神保健福祉」 (p.192~215)</p>
		f 母体保護法	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-3-2 「母性看護に関するおもな法律」 (p.69~71)</p> <p>公衆衛生 : 第 5 章 C-1-3 「リプロダクティブ・ヘルス／ライツの現状と課題」 (p.123)</p> <p>看護関係法令 : 第 3 章 II-C 「母体保護法」 (p.139~140)</p>
	C 精神保健	a 精神保健対策の制度の変遷	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 B 「日本における精神医学・精神医療の流れ」 (p.279~288)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 C-1-2 「日本における精神保健の歴史の変遷」 (p.178~179)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-1 「社会福祉の法制度の歴史的展開」 (p.12~15)、第 7 章 B-3 「障害者福祉制度の変遷」 (p.177~183)</p>
		b 精神障害者(児)の医療	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-2-2 「医療を受けるための法律と制度」 (p.310~314)</p>
		c 精神障害者(児)の福祉	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-2-3 「生活を支えるための法律と制度」 (p.314~321)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 C-3-2 「精神障害者への支援」 (p.183~189)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d こころの健康と自殺対策	<p>社会保障・社会福祉：第7章B「障害者福祉」(p.168～195)</p> <p>看護関係法令：第3章II-A「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.130～137)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：序章1「『心のケア』と現代社会」(p.2～4)</p> <p>公衆衛生：第7章C-2「自殺対策」(p.180～183)</p>
		e 発達障害	<p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第18章B-2「発達障害」(p.476～480)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章C-10「心理的発達の障害」(p.216～218)、第6章E-2-3「発達障害者支援法」(p.321)</p> <p>公衆衛生：第7章C-4「発達障害者への支援」(p.189)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章B-3-5「発達障害者支援法の成立」(p.179)、B-4-1「特別支援教育」(p.183～185)</p> <p>看護関係法令：第7章II-C-8「発達障害者支援法」(p.243)</p>
	D 学校保健	a 学校保健安全法	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章E-1「学校保健法から学校保健安全法へ」(p.188)</p> <p>公衆衛生：第8章A-1-4「学校保健の組織・法令・職種」(p.228～231)</p> <p>看護関係法令：第3章II-D「学校保健安全法」(p.141～142)</p>
		b 健康診断・健康相談	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章E-2「健康診断」、E-3「健康相談」(p.188～190)</p> <p>公衆衛生：第8章A-2-2「健康診断とその事後措置」(p.232～233)</p> <p>看護関係法令：第3章II-D「学校保健安全法」(p.141～142)</p>
		c 感染予防	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章D-2-4「感染予防」(p.304～306)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章E-4「感染予防」(p.190～191)</p> <p>公衆衛生：第8章A-2-3「感染症の予防と対策」(p.233)</p> <p>看護関係法令：第3章II-D「学校保健安全法」(p.141～142)</p>
		d 学校環境衛生	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章E「学校保健」(p.187～191)</p> <p>公衆衛生：第8章A-2「学校保健の展開」(p.231～235)</p> <p>看護関係法令：第3章II-D「学校保健安全法」(p.141～142)</p>
	E 生活習慣病の予防	a 主な生活習慣病の現状	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-2-3「生活習慣病」(p.51～53)</p> <p>公衆衛生：第8章B-2「労働者の健康問題」(p.237～240)</p>
		b 栄養・運動・休養	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-1-2「日常生活の状況」(p.43～48)、第5章C-4「身体活動量低下と運動不足」(p.173～175)</p> <p>公衆衛生：第7章B-2-2「生活機能・日常生活動作を低下させる要因と介護予防」(p.174～175)</p>
		c 喫煙・飲酒対策	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-1-2「日常生活の状況」(p.43～48)、第5章C-2「飲酒がもたらす健康問題」(p.171～172)、C-3「喫煙と健康問題」(p.172～173)</p> <p>公衆衛生：第7章B-1-1「成人・老人保健の背景」(p.165)</p> <p>精神保健福祉：第9章A「アルコール依存症の現状」(p.176～178)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 健康教育と早期発見	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章「健康生活をはぐくむ看護」(p.146~160) 公衆衛生 : 第3章B「新しい健康概念の提案と健康づくりを支援する方法」(p.67~74)、第7章B-2-2「生活機能・日常生活動作を低下させる要因と介護予防」(p.172~177) 医学概論 : 第8章C「定期的健康診断」(p.132)、D「予防的定期的総合健診の意義」(p.133~137)、E「生活習慣病と一次予防」(p.138~139)
		e 循環器疾患の予防	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章「健康生活をはぐくむ看護」(p.146~160) 成人看護学 [3] (循環器) : 第5章A-3「冠動脈硬化の危険因子」(p.140~148)
		f 糖尿病の予防	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章「健康生活をはぐくむ看護」(p.146~160)
		g 特定健康診査、特定保健指導	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章B-1-2「保健にかかわる対策—健やかな生活をはぐくむために」(p.63~72) 公衆衛生 : 第7章B-1-1「成人・老人保健の背景」(p.166) 社会保障・社会福祉 : 第2章B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.47~48)
F	がん対策	a がん対策基本法	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章B-1-2「保健にかかわる対策—健やかな生活をはぐくむために」(p.63~72) 公衆衛生 : 第7章B-1-1「成人・老人保健の背景」(p.165) 看護関係法令 : 第3章II-E「がん対策基本法」(p.142~143) がん看護学 : 第1章B「がん医療が直面する課題と施策」(p.14~17) 緩和ケア : 第1章B「緩和ケアの理念」(p.4~6)
G	難病対策	a 特定疾患治療研究事業	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章C-1「セルフマネジメントの支援」(p.213~215) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第1章D-5-3「在宅療養支援態勢」(p.25~27) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第1章A-2「医療の動向」(p.81~82) 公衆衛生 : 第7章D「難病保健」(p.189~197) 社会保障・社会福祉 : 第3章F「公費負担医療」(p.79~80)
H	職場の健康管理	a 労働安全衛生法	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.157~160) 公衆衛生 : 第8章B-3「法令」(p.240~242) 看護関係法令 : 第8章I-3「労働安全衛生法」(p.250~252)
		b 健康管理・職業病の予防	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.157~160)、第5章C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.169~171) 公衆衛生 : 第8章B「産業保健」(p.237~251) 看護関係法令 : 第8章I-3「労働安全衛生法」(p.250~252)
		c トータル・ヘルスプロモーション	医学概論 : 第8章B-5「労働衛生」(p.129~130) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章B「ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動」(p.155~160) 公衆衛生 : 第8章B-5「事業場内の衛生管理体制」(p.243~245)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 作業環境・作業環境管理	医学概論：第8章 B-5「労働衛生」(p.129~130) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.157~160) 公衆衛生：第8章 B-5「事業場内の衛生管理体制」(p.243~245)
		e ワーク・ライフ・バランス	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-3「ワークライフバランス」(p.33~34) 社会保障・社会福祉：第2章 A-5-4「仕事と余暇ワーク・ライフ・バランス」(p.44) 社会学：第7章 D「仕事と生活の調和」(p.117~120)

目標Ⅳ. 人々の健康を守るためのサービス提供機関及び従事者の役割・機能に関する法律について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
12 医療機関と医療従事者の職務の機能と役割	A 保健師助産師看護師法	a 目的・定義	看護関係法令：第2章 I-A-1「目的」(p.23)、I-A-2「定義」(p.23~25)	
		b 免許	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第4章 B-2「各看護職の養成制度と就業状況」(p.141~145) 看護関係法令：第2章 I-A-4「免許」(p.26~30)	
		c 業務	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-1-3「保健師助産師看護師法」(p.218~219) 看護関係法令：第2章 I-A-5「業務」(p.30~35) 臨外看総：第5章 A-4「看護師の業務」(p.191)	
		d 守秘義務	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章 A-4-2「職業倫理としての看護倫理」(p.171~172) 看護関係法令：第2章 I-A-5「業務」(p.30~35) 臨外看総：第5章 A-5-2「守秘義務」(p.194~195)	
		e 業務従事者届	看護関係法令：第2章 I-A-5「業務」(p.30~35)	
		B 医療関係法規	a 医療法	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章 C-1-3「医療法」(p.215~218) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 B-3-3「医療法」(p.158) 看護関係法令：第2章 II-C「医療法」(p.56~77)
	b 医師法		看護関係法令：第2章 II-A「医師法」(p.51~55)	
	c 歯科医師法		看護関係法令：第2章 II-B「歯科医師法」(p.55~56)	
	d 薬剤師法		看護関係法令：第2章 IV-1「薬剤師法」(p.77~79)	
	e 診療放射線技師法		看護関係法令：第2章 III-A「診療放射線技師法」(p.79~81)	
	f 臨床検査技師等に関する法律		看護関係法令：第2章 III-B「臨床検査技師等に関する法律」(p.81~83)	
	g 理学療法士及び作業療法士法、言語聴覚士法		看護関係法令：第2章 III-C「理学療法士及び作業療法士法」(p.83~84)、III-E「言語聴覚士法」(p.86~88)	
	h 社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法		看護関係法令：第2章 IV-4「社会福祉士及び介護福祉士法」(p.105~108)、VI-3「精神保健福祉士法」(p.104~105) 社会保障・社会福祉：第1章 B-6「社会福祉の従事者と担い手」(p.26~27)	
	C 医療サービスの供給体制		a 医療計画	看護関係法令：第2章 II-C-10「医療計画等医療提供体制の確保」(p.74~75) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-1「医療提供体制の特色と課題」(p.47)
			b 医療施設の機能	総合医療論：第3章 A-2「診療所と病院」(p.60~65) 看護関係法令：第2章 II-C「医療法」(p.56~77)
		c 救急医療の充実	総合医療論：第3章 A-1「救急医療と蘇生術」(p.58~60) 救急看護学：第1章「救急看護の概念」(p.2~46)	
		d 診療記録、情報公開	総合医療論：第5章 G「インフォームド・コンセントと医療情報の開示」(p.132~138)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 在宅医療	看護関係法令：第2章Ⅱ-C-8「診療に関する諸記録等」(p.71~72) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 C-5「在宅療養を可能にする連携と継続的なかわり」(p.51~53)、第6章 B-2-2「多様な場における看護活動」(p.205~211)
		f 訪問看護ステーション	在宅看護論：第3章 A「在宅看護のしくみ」(p.40~58) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 B-2-2「多様な場における看護活動」(p.205~211)
		g 助産所	在宅看護論：第3章 A-4「訪問看護制度」(p.50~58) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 B-2-1「助産所における看護」(p.204)
		h 医薬品と医療用具の取り扱い	看護関係法令：第2章Ⅱ-C「医療法」(p.56~77)
		i 毒薬・劇薬の取り扱い	看護関係法令：第4章Ⅰ-A「薬事法」(p.170~178) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 A-2-2「薬の管理」(p.276~277) 薬理学：第1部 第1章 F-1「医薬品に関する法律」(p.58)
		j 安全管理〈セーフティマネジメント〉	看護関係法令：第4章Ⅰ-A-7「医薬品等の取扱い」(p.175~176) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 E「医療安全と医療の質保証」(p.257~268) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 E-2「リスクマネジメント」(p.118~119) 在宅看護論：第4章 D「在宅における安全性の確保」(p.102~119) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：序章「医療安全を学ぶことのたいせつさ」(p.2~6)、第1章「事故防止の考え方を学ぶ」(p.8~36) 総合医療論：第6章 B「患者の安全」(p.148~154) 看護関係法令：第2章Ⅰ-A-8「医療過誤」(p.38~41) 臨外看護：第5章 A-6「医療事故」(p.196~198)
	D 看護職員の確保・労働と関係法規	a 労働基準法	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-1-4「看護職者の労働にかかわる法」(p.219~220) 看護関係法令：第8章Ⅰ-1「労働基準法」(p.246~250)
		b 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律〈育児・介護休業法〉	看護関係法令：第8章Ⅰ-10「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」(p.255~256)
		c 看護師等の人材確保の促進に関する法律	看護関係法令：第2章Ⅰ-B「看護師等の人材確保の促進に関する法律」(p.48~51)